



政進会 倉橋 正美

文化ゾーン整備の進捗状況について



無会派 田中 ひろこ

高齢者支援について



政進会 永井 浩介

子ども政策について



政進会 永井 浩介

子ども政策について

問 文化ゾーンの整備については整備時期を2期に分け、第1期では短期的な課題解決に向けて、公共施設再編（適正化）計画との整合を図りながら集約化を進めるとしています。公共施設再編への第1弾として評価し、期待していますが、第1期整備に向けた進捗状況を伺います。

答 （市長）：先に定めた基本構想および第1期整備指針に基づき、文化の発信のみならず、さまざまな交流の拠点となることを目指し、全庁的な協議を進めています。

答 （財務部長）：公募型プロポーザル方式により業者の選定を行い、第1期基本計画の策定に取り組んでいます。基本計画策定にあたり、利用者などの意見を把握するため、複合化する予定の市民ギャラリーや総合福祉会館の利用団体など、関係団体にアンケートを実施しています。

問 具体的にどのような意見があるか伺います。

答 （市民協働部長）：市民ギャラリー利用団体からは、現施設で不足している搬出入口や駐車場の整備、展示室ごとの控室設置、通行人も入りやすい施設にしてほしい、開放感や温かみのある工夫をしてほしいなどの声があります。

答 （保健福祉部長）：福祉会館利用団体からは、複数の広い部屋、防音機能がある部屋、バリアフリー化、施設の一足制などの意見が寄せられています。

問 施設を利用している個人の方へのアンケートを予定しているか伺います。

答 （財務部長）：基本計画の案ができた段階で、パブリックコメントを通じて広く意見の聴取に努めてまいります。

その他質問

- ・本庁舎駐車場の今後の方向性について
- ・まちづくり第2ステージに向けた消
- ・防力の強化について



文化会館などが立ち並ぶ文化ゾーン

問 高齢者が自宅で亡くなった場合に死亡診断の対応が可能な市内かかりつけ医の状況を伺います。また、かかりつけ医制度の推進に市がどう取り組んでいるのか伺います。

答 （保健福祉部次長）：令和6年10月現在、日本医師会が実施する研修を受講した医師が4名、訪問可能な医療機関は17件あります。市としてはかかりつけ医の必要性やメリットを広報やホームページで周知をしています。今後もさまざまなイベントでも発信していきたいと考えています。

問 身寄りのない高齢者が増える中で入院や介護施設入所時の身元保証、日常生活支援、葬儀や遺品整理の死後事務などこれまで家族や親族が担ってきた役割を肩代わりする家族代行サービスの需要が高まっています。家族代行サービスを公的機関が担うよう求める声があるか伺います。

答 （保健福祉部次長）：市にそのような声は寄せられておらず、現時点で実施する予定はありませんが、国から示されるモデル事業の検証結果などを注視してまいります。

問 自治会加入率が減る中で市のリーダーシップが求められています。高齢者の班長免除、自治会費の振り込み対応、SNSでの回覧板の閲覧などに取り組んでいる自治会があるのですが、市民への周知について伺います。

答 （市民協働部長）：そういった取り組みについては、自治連を通じて全自治会への情報提供が必要だと思います。また、自治会SNSいちは本格運用する際に、市民に広く周知することが必要です。今後も地域コミュニティの柱である自治会への支援策をしっかりと検討したいと考えています。

その他質問

- ・物流施設について
- ・若い世代に引き継ぐ平和推進事業について



- ・子どもたちの放課後について
- ・交通政策について

